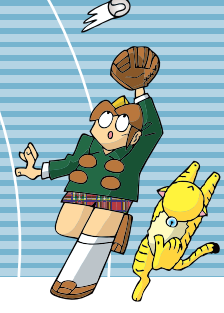




# ヨリゴリ博士の 暴投ステーション

マンガ●オガケン

「ウイルス異次元転送機」の巻 119



えっ!?!

師匠がキトクだとオー!?!

まったくもう……これで、10回目のキトクだぞ。

師匠って、博士の先生ですよ?

うむ、私に、天才の発想というものを、教えてくれたんだ。

大丈夫ですか 師匠?

へえ……

たのむ……そのメカを 作動させて くれ……

ウイルス 異次元 転送機じゃ。

やるんが 大ゲサ……

そのメカを 使うと、 2次元のこの マンガ世界から、 別の次元に ウイルスを追っ払う ことができるのじゃ。

では、 スイッチを 入れますよ。

師匠!! たんなる カゼじゃない ですか!!

わしゃ……わしゃ もうダメじゃ。

博士の助手をしている小学生

早っ!!

治った!

まあ、とにかく よかったですね、 師匠!

うむ、 なにしろ このウイルスに かかると……

まず ふるえが 来てな……

はあ……

マンガなんて とても描いて いられんぞ……

え……っ 作者の オガケンに ウイルス飛ばしたの……!?!

絵のタッチが 変だ…… 大丈夫 かな……

うがいも しているし、 手も洗って いるのに、 カゼをひいて しまったのは ナゼだ!?

次は熱が 出て……

体が だる…… なる……

ナゼダーマン

コビン

ヨリゴリ博士  
時々変なものを作ってしまう天才科学者。

ペーター  
博士の助手をしている小学生